

2018年4月、心理学部開設

心の問題がさまざまな形で現れる現代社会に対応し、専門的な知識で解決に導く人材を育成したい

物質的な豊かさを追求してきた現代社会は、社会や家庭において心のトラブルがさまざまな形で現れています。今、人と人との問題を、専門的な知識と技術で解決する専門家の力が求められています。2017年に施行予定の公認心理師法により、心の専門家として初の国家資格となる「公認心理師」が誕生することが決まりました。これまで以上に増えるであろう仕事の領域をカバーし、時代に応じた心理学を学ぶ充実した組織を作るため、本学では2018年4月に心理学部臨床心理学科（入学定員95名）を新設することにいたしました。

【新入試制度】心理学部の開設に伴い、 全学科でスカラシップ入学試験を実施します

2018年入学試験からスカラシップ一般入学試験及び、スカラシップ大学入試センター試験利用入学試験をそれぞれの入学試験と同日程で実施します（全学科共通3教科受験）。合格者は「スカラシップ特待生」となり、初年度授業料を免除すると共に、入学後も学業成績が一定の基準に達していれば、最長4年間の授業料免除を継続します。

また、AO（アドミッション・オフィス）入学試験及び、推薦入学試験で合格し、入学手続を完了した方はその学科に限り検定料不要で「成績優秀者奨学金制度（スカラシップ特待生含む）」へチャレンジすることが出来ます。

詳細は、本学ホームページをご覧ください。



心理学部長 室橋春光 教授（2018年4月就任予定）

2017（平成29）年度 入学式

大学院 3 研究科 23 名、4 学部 8 学科 596 名、合わせて 619 名が入学しました



4月1日、2017年度入学式がG館SGUホールで行われました。鶴丸俊明学長の式辞では、「本学は昨年、創立70周年を迎えました。終戦直後の

政治も社会も混乱状態にあり、食べる物にも事欠くなかで、大企業でもない、金持ちでもない若い人たちが、自分たちの手で学び舎を創りました。このような歴史を持つ大学は他にありません。今や48,000人の卒業生を擁する大きな大学へと成長してきました。加えて、来年は4年制大学の設立から50年の記念すべき年となります。諸君には、一連の歴史をしっかりと胸に刻みこんでいただき、歴史ある大学の主人公として、勉学に、課外活動に励まれることを、期待いたします。1日でも早く大学を理解して、高校の生徒から、大学の学生へ成長していただきたい」と新入生に向けてメッセージが送られ、その後参加者全員で校歌を斉唱しました。

入学式第2部「ウエルカムアワー」では、コラボレーションセンターの学生スタッフが進行役を務め、体育会・文化系クラブサークルやゼミナールなど、学生たちが自ら作成した動画を用いて普段の活動の様子を紹介しました。

入学式の後には、各学部・学科ごとに教室に分かれてガイダンスが行われ、教職員スタッフの紹介や学生証の交付、授業開始までのスケジュールなどについて担当者から説明を受けました。

入学式当日は天候にも恵まれ、式終了後のキャンパス内では、家族で写真撮影したり、先輩学生からクラブなどへの勧誘を受けたりと、賑やかな様子でした。

ANAビジネスソリューション株式会社と教育連携協定を締結

1月12日、ANAビジネスソリューション株式会社と札幌学院大学との教育連携協定書の調印式が行われました。

この協定は、本学学生のエアライン業界への就職強化を目的として実施するもので、協定の締結によりANAエアラインスクールが開講する講座受講料の減免や空港実務体験の実施などが可能となりました。

2月27日から本学社会連携センターで、本格的な就職活動に向けて通常のベーシックコースを4日間に凝縮した短期集中コースが開講されました。3月15日「AIRDO座談会」、17日には「ANA新千歳空港での実務体験」が行われ、現場を深く学ぶ機会となりました。参加した学生からは、「実際の現場を知ること、より働くイメージがつかめました」との感想が寄せられました。講座の受講者から一人でも多く内定者が出ることを願っています。



北海道清里高校と高大連携協定を締結

1月13日、北海道清里高等学校と高大連携協定を締結しました。2012年度から始まった交流をより一層強化し、両校の教育の充実と社会に貢献できる有為な人材を育成することが目的です。

2012年度から「高校生と大学生のカタリ場」として、大学生活や高校時代の過ごし方について本学学生がアドバイスを行い、2015年度からは北海道清里高校の学校祭への協力を通じて交流を行ってきました。

今後は、この取り組みのほか、留学生を含めた学生の交流、教員同士の交流、清里町の地域の皆さまとの交流などが検討されています。



頑張った学生を応援する奨学・奨励金制度

成績優秀者奨学生40名、資格取得者奨学生22名、課外活動特待奨励生51名を採用

2017年度新入生の成績優秀者奨学生、資格取得者奨学生、課外活動特待奨励生が決定しました。入試成績による成績優秀者奨学生40名（前年度より19名増）、入学までの資格取得（英検・簿記など）による資格取得者奨学生22名（4名増）、公募制指定スポーツ推薦などで入学した課外活動特待奨励生51名（3名増）が採用されました。また、課外活動特待奨励生の継続者42名についても採用が決定しました。

2016年度には在学中で資格を取得した4名が資格取得者奨学生として採用されました。また、本学独自の奨学金である経済援助奨学金には98名が採用され32名（学部生30名、院生2名）が年間授業料の半額、66名（学部生62名、院生4名）が前期授業料の半額が給付されました。

奨学生並びに奨励生は、大学生活においてより高い目標に向かって勉学や資格取得、課外活動に励むことが期待されています。

■ 成績優秀者奨学生

	人数	学科	免除額
第一種	15名	人間科学科4名、英語英米文学科2名、臨床心理学科5名、法律学科1名、会計ファイナンス学科3名	1年次の年間授業料
第二種	25名	人間科学科4名、英語英米文学科4名、臨床心理学科5名、こども発達学科4名、経済学科2名、法律学科2名、会計ファイナンス学科2名、経営学科2名	1年次の前期授業料

■ 資格取得者奨学生

	人数	資格の種類	免除額
新入生	22名	日商簿記2級2名、全商・全経簿記1級9名、実用英語検定2級11名	入学金免除
在学中	4名	応用情報技術者試験1名、TOEIC740点以上3名	年間授業料の半額

■ 課外活動特待奨励生

	人数	種類	競技名
新入生	51名	一種15名、二種16名、四種2名、五種18名	硬式野球18名、弓道5名、ソフトテニス7名、陸上7名、カーリング1名、バスケットボール11名、ボクシング2名
在学中 (継続者)	42名	一種29名、二種13名	硬式野球10名、弓道8名、ソフトテニス7名、陸上10名、カーリング5名、空手道1名、武術太極拳1名

第一種（年間授業料全額免除）、第二種（年間授業料半額免除）、第三種（1年次授業料の半額免除）、第四種（入学金免除）、第五種（入学金半額免除）

学園創立70周年・大学開学50周年記念事業

心理学部設置記念講演会・心理学部説明会

6月10日、学園創立70周年を記念し、心理学部設置記念講演会・心理学部説明会がG館SGUホールで開催されました。

井上俊彌理事長、鶴丸俊明学長からの挨拶の後、コラボレーションセンターに所属する学生スタッフが制作した「70年の歴史」映像を放映し、本学のあゆみを振り返りました。

講演では、テレビなどでもお馴染みの脳科学者中野信子先生をお招きし、「幸せをつかむための脳科学・心理学」のテーマで、人はどんな人に心を開くのか、信頼するのかなどについて、脳科学と心理学の観点からお話いただきました。

講演後は、G館8階ラウンジにて2018年4月に開設される心理学部の概要の紹介、個別相談会を開催いたしました。

心理学に関心のある高校生・保護者が多数参加し、熱心な様子で説明に耳を傾けていました。



脳科学者・医学博士中野信子先生の講演

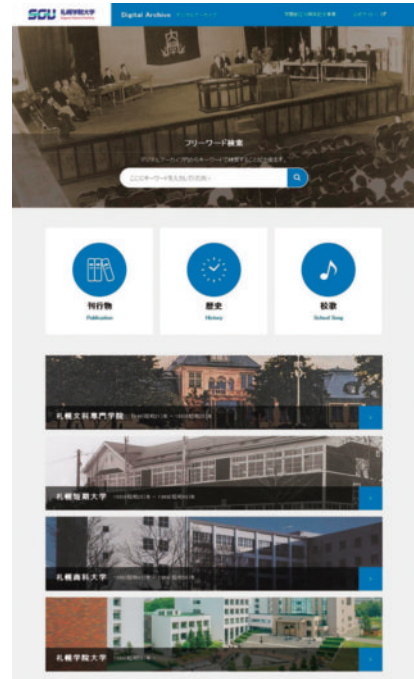


心理学部説明会・個別相談会

デジタルアーカイブシステム

学園創立70周年を記念し、本学の歴史に触れる仕組みとして「デジタルアーカイブシステム」を制作し、大学公式ホームページで公開いたしました。学園創立当時から現在に至るまでの歴史資料を格納しております。

札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学、札幌学院大学にカテゴリが分けられ、刊行物や写真、校歌など懐かしい資料を閲覧することができます。随時更新して参りますので、ぜひ定期的にご覧ください。



学園創立70周年・大学開学50周年記念事業並びに札幌学院大学教育振興寄付金へのご協力をお願い

本学園は、2016（平成28）年に創立70周年、2018（平成30）年には大学開学50周年を迎えます。この70周年という大きな節目を同窓生・在学生と共に、また、これまでご支援いただいた法人・企業・教育機関の関係者ほか、多くの支援者と祝い、さらに100周年に向けて本学園が飛躍するための再スタートの機会として記念事業を推進するためと大学における教育振興を充実するために、広くご寄付を募っています。ご寄付は、「周年記念事業の推進」、「奨学金制度の充実」、「教育研究活動の支援」、「国際交流事業の推進」、「課外活動の振興」、「施設・設備の整備」に活用させていただきます。

本学園に対する寄付は、専用紙による申し込みとインターネット（本学ホームページ）上でクレジットカード決済やコンビニエンスストアでの払込みによる申し込みが可能です。

寄付の詳細については、ホームページからご覧ください。



札幌学院大学 寄付金 検索

税制上の優遇措置

本学園への寄付は、次のとおり税制上の優遇措置を受けることができます。個人所得稅については、所得控除と税額控除のどちらかを選択して頂き、確定申告を行うことで所得稅が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択した方が、減免が大きくなります。法人（企業等）からのご寄付については、日本私立学校振興・共済事業団の「受配者指定金制度」により、寄付金を支出した事業年度において寄付金額の全額を損金に算入することができます。寄付金のお申し込みや手続きについてご不明な点がありましたら総務課財務係までお問合せください。

教育振興寄付金のご協力に深く感謝▶▶▶ 同窓生、保護者の皆さまをはじめ多数の方々から寄付金のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2016年度の実績は、累計147件、47,909,000円でした。引き続き、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

寄付者・ご芳名（敬称略・順不同）

2017.1.1～2017.5.31

石川 操六	岡島 憲司	佐藤 達哉	中西 宏明	増子 賢一	米澤 恒司
石田英里香	加藤 元嗣	佐藤 秀幸	西山 友男	松木 剛	和田 弘
市川 茂	川島 禎浩	菅原 隆	芳賀 義仙	松下 公紀	和田 為雅
伊波 寛爾	黒光 勸次	高橋 宏司	平木 淳一	松本美智子	渡辺 健治
上村 秩子	小西 秀雄	高橋 純一	藤井 泰雄	三浦 上	渡辺 良子
江上さい子	今 功一	滝澤 大徳	藤原 誠吉	三上 博康	(他匿名 26名)
江別工業地協同組合	近藤 武雄	田中 伸哉	堀内 高	向 春夫	
	齊藤けい子	辻 智子	前村 純子	桃山 光雄	

2016年度決算ならびに2017年度予算

事業活動収支計算書

(単位：千円)

	2016年度予算	2016年度決算	差異	2017年度予算	主な項目	
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,206,500	2,177,499	29,001	2,040,300	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料	30,300	33,209	△2,909	32,900	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金	38,300	46,909	△8,609	26,000	個人や団体からの寄付金、図書や備品等の贈物寄付金
	経常費等補助金	360,200	277,069	83,131	275,200	国又は地方公共団体からの補助金
	(内国庫補助金)	(360,000)	(276,885)	(83,115)	(275,000)	
	付随事業収入	26,700	21,924	4,776	22,200	外部より委託を受けて行う試験、研究などの収入
	雑収入	191,800	224,197	△32,397	128,000	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など
	教育活動収入計	2,853,800	2,780,807	72,993	2,524,600	経常的な活動のうち教育活動にかかる収入額計
	支出の部					
	人件費	2,304,300	2,302,149	2,151	2,200,700	専任教職員、非常勤給与、アルバイト料、退職金など
教育研究経費	1,228,865	1,054,631	174,234	1,203,300	教育や研究部門に資する費用(減価償却費含む)	
管理経費	315,125	324,926	△9,801	359,400	管理や法人部門に資する費用(減価償却費含む)	
徴収不能額等	0	291	△291	0		
教育活動支出計	3,848,290	3,681,997	166,293	3,763,400	経常的な活動のうち教育活動にかかる支出額計	
教育活動収支差額	△994,490	△901,190	△93,300	△1,238,800	教育活動収入計から教育活動支出計を減じた額	
収入の部						
受取利息・配当金	227,800	241,200	△13,400	171,000	貸付金または預金などの運用財産の利息、受取利息・配当金	
その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
教育活動外収入計	227,800	241,200	△13,400	171,000	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる収入額計	
支出の部						
借入金等利息	2,812	2,812	0	2,000	借入金の支払利息、リース料の利息分など	
その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
教育活動外支出計	2,812	2,812	0	2,000	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる支出額計	
教育活動外収支差額	224,988	238,388	△13,400	169,000	教育活動外収入計から教育活動外支出計を減じた額	
経常収支差額	△769,502	△662,802	△106,700	△1,069,800	教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計額	
収入の部						
資産売却差額	43,760	300	43,460	0	資産売却収入が当該資産の帳簿価格を超える場合の、その超過額の収入	
その他の特別収入	0	4,834	△4,834	3,200		
特別収入計	43,760	5,134	38,626	3,200	資産売却や処分にかかる臨時的な収入	
支出の部						
資産処分差額	25,000	14,471	10,529	16,000	資産売却代金が帳簿価格を下回った場合の差額や資産を売却した際の除却額	
その他の特別支出	0	0	0	0		
特別支出計	25,000	14,471	10,529	16,000	資産売却や処分にかかる臨時的な支出	
特別収支差額	18,760	△9,337	28,097	△12,800	特別収入から特別支出計を減じた額	
予備費	9,300	0	9,300	7,900	予備の予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上	
基本金組入前当年度収支差額	△760,042	△672,139	△87,903	△1,090,500	経常収支差額と特別収支差額の合計額	
基本金組入額合計	△129,029	△71,363	△57,666	△218,600	1号から4号までの基本金組入額	
当年度収支差額	△889,071	△743,502	△145,569	△1,309,100	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した今年度の収支差額	
前年度繰越収支差額	△642,105	△642,105	0	△1,316,300	前年度までの収支差額	
基本金取崩額	0	60,000	△60,000	0	当年度で購入した建物や備品等の額を上回って、既存の建物や備品等を売却した際に基本金を取崩す額	
翌年度繰越収支差額	△1,531,176	△1,325,607	△205,569	△2,625,400	翌年度へ繰り越す収支差額	
(参考)						
事業活動収入計	3,125,360	3,027,141	98,219	2,698,800	当年度のすべての事業活動収入	
事業活動支出計	3,885,402	3,699,280	186,122	3,789,300	当年度のすべての事業活動支出	

2016(平成28)年度決算並びに2017(平成29)年度予算

2017(平成29)年5月26日に開催された第220回理事会において、学校法人札幌学院大学2016(平成28)年度決算並びに2017(平成29)年度補正予算が承認されました。

[2016(平成28)年度決算の概要]

事業活動収支計算書の当年度収支差額については、予算額で8億8,910万円の支出超過を見込んでおりましたが、決算額では1億4,560万円支出超過が減少し、7億4,350万円の支出超過となりました。これは、教育研究経費のうちLED化及び電力自由化に伴う電力会社の変更による水道光熱費の削減や学生支援システム更新完了に伴う差異が大きな要因です。

資金(キャッシュ)の増減については、2015年度末から約8千6百万円の減少となっており、財務基盤をより強固なものにするため、中期的に収支均衡を図るよう改善を行っていく所存です。

資金収支計算書

(単位：千円)

	2016年度予算	2016年度決算	差異	2017年度予算	主な項目
収入の部					
学生生徒等納付金収入	2,206,500	2,177,499	29,001	2,040,300	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
手数料収入	30,300	33,209	△2,909	32,900	入学試験の検定料、試験料など
寄付金収入	35,000	46,909	△11,909	26,000	個人や団体からの寄付金
補助金収入	360,200	278,550	81,650	275,200	国又は地方公共団体からの補助金
資産売却収入	773,587	300	773,287	0	機器備品等の固定資産の売却による収入
付随事業・収益事業収入	26,700	21,924	4,776	22,200	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
受取利息・配当金収入	227,800	241,200	△13,400	171,000	貸付金、預金等運用財産の利息・受取利息・配当金
雑収入	191,800	224,197	△32,397	128,000	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など
前受金収入	323,300	346,455	△23,155	325,900	翌年度入学生の入学金、授業料、教育充実費など
その他の収入	5,145,117	5,421,615	△276,498	6,219,200	運用資産の満期または売却による収入額、前期末未収入金、貸付金の回収収入など
資金収入調整勘定	△498,123	△517,784	19,661	△476,500	当年度末の未収入金、前期末の前受金など
前年度繰越支払資金	2,045,892	2,045,892	0	1,678,400	前年度に繰越された預貯金など、支払資金の繰越額
収入の部合計	10,868,073	10,319,967	548,106	10,442,600	
支出の部					
人件費支出	2,302,800	2,301,708	1,092	2,186,700	専任教職員、非常勤給与、アルバイト料、退職金など
教育研究経費支出	910,300	738,715	171,585	876,500	教育や研究部門に資する費用
管理経費支出	290,700	299,914	△9,214	331,900	管理や法人部門に資する費用
借入金等利息支出	2,812	2,812	0	2,000	借入金の支払利息、リース料の利息分など
施設関係支出	75,808	68,534	7,274	148,500	土地・建物・構築物等の固定資産取得の支出
設備関係支出	80,366	70,483	9,883	191,700	備品・図書・施設利用権等の固定資産取得の支出
資産運用支出	4,745,000	5,112,842	△367,842	5,546,000	運用資産の新規購入または満期償還などによる再取得額
その他の支出	89,180	89,173	7	89,500	新たな貸付金、前払金、前年度の未払金など
予備費	9,300	0	9,300	7,900	予備の予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上
資金支出調整勘定	△83,623	△42,655	△40,968	△44,900	当年度の期末未払金、前期末の前受金
翌年度繰越支払資金	2,445,430	1,678,441	766,989	1,106,800	次年度に繰越す預貯金など、支払資金の繰越額
支出の部合計	10,868,073	10,319,967	548,106	10,442,600	

貸借対照表

資産の部 (単位：千円)

	本年度末 2017年3月31日	前年度末 2016年3月31日	増減	主な項目
固定資産	26,178,885	26,515,604	△336,719	有形固定資産とその他の固定資産の合計額
有形固定資産	10,744,277	10,957,258	△212,981	使用期間が1年以上にわたる、土地・建物・構築物・備品・図書
特定資産	15,406,433	15,521,122	△114,689	1年以上所有する特定資産
その他の固定資産	28,175	37,224	△9,049	1年以上所有する、電話加入権・施設利用権・長期貸付金・長期前払金
流動資産	2,619,157	2,972,257	△353,100	現金や預金・1年以内の短期貸付金
資産の部合計	28,798,042	29,487,861	△689,819	

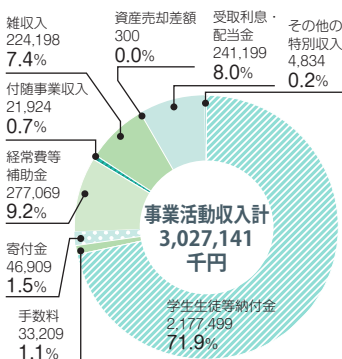
負債の部

固定負債	1,251,888	1,293,450	△41,562	返済期限が1年以上にわたる借入金や学費債、退職給付引当金
流動負債	484,685	460,803	23,882	返済期限が1年未満の借入金や学費債、預り金や未払金
負債の部合計	1,736,572	1,754,253	△17,681	

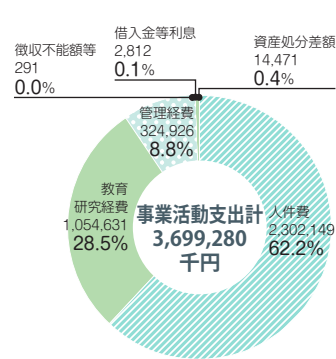
純資産の部

基本金	28,387,077	28,375,714	11,363	学校法人会計基準第30号で定められた固定資産(第1号)、新校舎建設等引当特定資産(第2号)、運用果てて行う奨学事業の基金(第3号)、法令に基づいた支払準備金(第4号)
繰越収支差額	△1,325,608	△642,105	△683,503	前年度までの繰越収支差額に、当年度の繰越収支差額を加えた累積額
純資産の部合計	27,061,470	27,733,608	△672,140	基本金及び繰越収支差額の合計
負債及び純資産の部合計	28,798,042	29,487,861	△689,819	負債の部合計と純資産の部を合計した額

2016年度 事業活動収支計算書 事業活動収入割合 (金額単位：千円)



2016年度 事業活動収支計算書 事業活動支出の部割合 (金額単位：千円)



[2017 (平成29) 年度の予算編成方針]

(基本的な考え方)

- 財政健全化のため、事業活動収入の増加に資する事業を推進する。
 - ・入学者を安定的に確保するための施策
 - ・休学者・除籍者を減少させるための施策
 - ・補助金獲得につながる大学改革、教育改革事業
- 教育、研究、地域貢献活動等の基盤を保障した上で本学の強みを強化する事業を推進する。
 - ・教育内容の充実を図るための事業
 - ・学生の就業力を高める事業
 - ・学生の課外活動を支援する事業
 - ・研究水準の向上に資する事業
 - ・社会貢献、地域貢献事業
- 大学改革と学部学科の再編に係る諸活動を推進する。
- 引き続き学園創立70周年・大学開学50周年記念事業を推進する。
- 財政再建計画に従って、人件費の抑制・削減を進める。

◎主な重点政策事項

- 教育の改善
 - ・基礎学力育成のための新たな教育コンテンツの充実
 - ・高大接続・入学前学習の充実による大学への適応性の強化
 - ・大学教育に関する理解を深めることを意図した履修要項の改善
 - ・キャリア科目等の就業教育の充実
 - ・FD (教員の能力開発)・授業アンケートの活用等を通じた授業改善の強化
 - ・IR (教学データ分析) の推進と広範な活用
 - ・サポートセンター、コラボレーションセンター、ラーニングcommons等、学習施設の活用指導の強化
 - ・地域連携教育の充実
 - ・国際化・グローバル教育の充実
 - ・教員顕彰制度の検討
- 休退学予防に係る取り組みの強化
- 私立大学等改革総合支援事業への取り組みの強化
- 人文学部・社会科学系学部の再編の推進
- 心理学部設置作業の推進と学生募集への対応
- 学生支援の強化
- 多様な学びのスタイルに対応する教育環境と学生の諸活動を活性化させるキャンパス、安心・安全、リアフリーにも配慮した居心地のよい滞在型キャンパスへの推進
- 学園創立70周年・大学開学50周年記念事業の推進
- 財政基盤の安定に向け、中期計画の策定・実行

[2017 (平成29) 年度予算の概要]

以下の、重点政策事項を具体化し、実現するため、当年度収支差額は13億0,910万円の支出超過を見込んでおり、資金(キャッシュ)については約5億7,160万円の減少を見込んであります。先にも述べましたが、中期的に収支均衡を図るよう、改善を行っていき所存です。

2017年度 科学研究費助成事業 (日本学術振興会) 採択状況

科学研究費助成事業とは、文部科学省並びに独立行政法人日本学術振興会所管の競争的研究資金です。本学からも下記の研究者が競争的資金を獲得し、研究活動を活発に行っております。

(単位: 円)

研究代表者	学部	研究種目	研究課題	交付決定額
白杵 勲	人文	基盤研究 (A)	初期遊牧国家の比較考古学的研究	5,980,000
奥田 統己	人文	基盤研究 (B)	アイヌ語現地調査資料の整理・分析および研究者カーカイブズの構築	2,860,000
木戸 功	人文	基盤研究 (B)	現代家族の過程と実践をめぐる質的研究に対する組織的取り組み	650,000
清水 敏行	法	基盤研究 (C)	民主化以降の韓国と台湾における政治と市民社会の相互作用の比較研究	650,000
児島 恭子	人文	基盤研究 (C)	イチョウ巨樹の乳信仰に関する歴史研究	390,000
小内 純子	法	基盤研究 (C)	農山村における新しいソーシャル・サポート・システム構築に関する研究	1,560,000
大澤 真平	人文	基盤研究 (C)	子ども・若者の貧困とその経験: 社会的文脈を組み込んだ分析視点から	520,000
横山登志子	人文	挑戦的萌芽研究	複合的困難を抱えるDV被害母子の生活再建期における「積極的分離」	0
大塚 宜明	人文	若手研究 (B)	北海道における先史時代の資源利用の解明に向けた基盤構築 一置戸産黒曜石を観点に一	1,300,000
斉藤 美香	人文	基盤研究 (C)	援助要請行動回避型学生へのメンタルヘルス教育プログラムの開発	910,000
宮崎 友香	人文	基盤研究 (C)	治療的アセスメント短縮版の開発と適用に関する実証的研究 一複数施設における効果検証	1,690,000
土居 直史	経済	若手研究 (B)	空港使用料の転嫁と帰着に関する実証研究	780,000

教職員人事

■任命 (平成29年4月1日付)

- | | |
|-----------------|-------|
| 教務部長 | 森 直久 |
| 広報入試部長 | 中村 永友 |
| 学生部長 | 横山登志子 |
| 総合研究所長 | 大國 充彦 |
| 経営学部長 | 玉山 和夫 |
| 経済学部長 | 山田 智哉 |
| 法学部長 | 岡田久美子 |
| 社会情報学部長 | 皆川 雅章 |
| 経営学部経営学科長 | 山本 純 |
| 経営学部会計ファイナンス学科長 | 玉山 和夫 |
| 経済学部経済学科長 | 高田 洋 |
| 人文学部子ども発達学科長 | 小出 良幸 |
| 法学部法律学科長 | 石井 和平 |
| 社会情報学部社会情報学科長 | 皆川 雅章 |
| 経営学部教務委員長 | 山本 純 |
| 経済学部教務委員長 | 湯川 郁子 |
| 国際交流委員長 | 吉川 哲生 |
| コラボレーションセンター長 | 横山登志子 |
| 教職課程委員長 | 二通 諭 |
| アクセシビリティ推進委員長 | 松川 敏道 |
| 電子計算機センター長 | 皆川 雅章 |

■昇任 (平成29年4月1日付)

- | | |
|-----|-------|
| 教授 | 木戸 功 |
| 准教授 | 水島 梨紗 |

■所属学部・学科変更 (平成29年4月1日付)

- 佐藤 和洋 (経済学部経済学科 教授)
- 森田 彦 (経済学部経済学科 教授)
- 小内 純子 (法学部法律学科 教授)

■異動 (平成29年4月1日付) ※ () 内は、異動前の所属

- | | |
|----------|------------------|
| 教務課 庶務係長 | 岡田 章宏 (図書課 運用係長) |
| 管財課 | 稲垣 愛弓 (教務課) |

■異動 (平成29年6月1日付) ※ () 内は、異動前の所属

- | | |
|----------------------------|---------------|
| キャリア支援課 参事 荒 惠一 (広報入試課 参事) | 小倉友里恵 (広報入試課) |
| 広報入試課 参事 山口 清 (キャリア支援課 参事) | 林 真莉奈 (図書課) |
| 広報入試課 高橋 晃治 (学生支援課) | |
| 学生支援課 高橋 秀昌 (広報入試課) | |
| 教育支援課 今野 亮介 (広報入試課) | |
| 教務課 中村 真紀 (教育支援課) | |

小倉友里恵 (広報入試課)

林 真莉奈 (図書課)

■退職 (平成29年3月31日付)

- 佐々木 冠 (経営学部経営学科 教授)
- 杉本 修 (経営学部経営学科 教授)
- 高木 清 (経営学部経営学科 教授)
- 石垣 巧 (経営学部会計ファイナンス学科 教授)
- 佐々木 達 (経済学部経済学科 准教授)
- 新開 潤一 (経済学部経済学科 講師)
- 白井 博 (人文学部人間科学科 教授)
- 平体 由美 (人文学部英語英米文学科 教授)
- 佐藤ケイト (人文学部英語英米文学科 講師)
- 大瀬 隆 (人文学部子ども発達学科 教授)
- 家田 愛子 (法学部法律学科 教授)
- 西尾 敬義 (法学部法律学科 教授)
- 竹本 隆吉 (教務課)
- 西崎 円吉 (教務課)
- 武田 鉄男 (キャリア支援課)
- 渡邊 大翔 (管財課)

■採用教員



河田 真清	高橋ヘレン	榎山 純	金盛 直茂	山崎 慎吾	室橋 春光	大宮 秀淑	
斉藤 美香	手代木理子	松井 光一	伊藤 綾乃	萩原 亜美	小倉友里恵	林 真莉奈	

公開講座 — 大学の知的財産を社会へ発信 —

※公開講座は、「道民カレッジ」の連携講座で「えべつ市民カレッジ」との共催です。

人文学部公開講座（第38回）

〈科目名：人間論特殊講義〉

人間の生命と尊厳について考える — 相模原事件から1年 —

開催日時 5月13日（土）～7月8日（土）
期間中6月24日を除く毎週土曜日1・2講時
9：10～12：20（休憩10：40～10：50）
※ただし、最終日7月8日（土）は
10：00～12：20
開催場所 札幌学院大学 D202教室
（7月8日は札幌学院大学 SGUホール）
主催学部 人文学部
（担当教員 新田 雅子先生他）

経済学部公開講座（第10回）

〈科目名：経済学特別講義C〉

北海道における1次産業の 現状と課題

開催日時 9月22日（金）3講時～1月19日（金）
3講時の毎週金曜日と、12月26日（火）に
実施。11月3日、12月29日、1月5日、
1月12日は休み。
開催場所 札幌学院大学 D202教室
主催学部 経済学部
（担当教員 山田 智哉先生他）

法学部公開講座（第28回）

〈科目名：法政総合講義C〉

地域・市民社会から 北海道を読み解く（仮）

開催日時 9月20日（水）3講時～1月17日（水）
3講時（毎週水曜日実施）
※12月27日、1月3日、1月10日は休み。
開催場所 札幌学院大学 D202教室
主催学部 法学部
（担当教員 石井 和平先生他）

2017（平成29）年度 保護者懇談会のご案内

保護者懇談会は、今年で43年目を迎えます。大学と保護者が協力して学生の学びと成長を支えていこうという目的で1974年から開催しています。

本学の教育と最近の就職状況についてご説明

申し上げるとともに、学生一人ひとりの修学状況を十分に踏まえた上で、学部担当教員より、お子様の修学状況（単位修得・成績など）をお話させていただきます。

今年度は、以下のとおり開催を予定しています。



昨年の本学会場全体会の様子

開催地	開催日	受付	保護者懇談会	会場
旭川	8月26日（土）	12：00	12：30～14：30	アートホテルズ旭川
北見	8月27日（日）	9：30	10：00～12：30	ホテル黒部
函館	9月9日（土）	9：30	10：00～12：30	ホテル法華クラブ函館
青森	9月10日（日）	9：30	10：00～12：30	ホテル青森
本学	10月7日（土）	9：30	10：00～15：00	札幌学院大学

※本学会場では、13時よりキャリア支援課主催の「保護者向け就職活動勉強会」を開催します。

後援会役員会を開催

5月20日、後援会の本年度役員会をG館5階において開催いたしました。当日は、①新評議員及び理事の選任、②平成28年度事業報告及び決算、③平成29年度事業計画及び予算、④会則の一部改正の4つの議案について全てご承認をいただきました。

役員会終了後の昼食会では、学園及び大学関係者も参加してなごやかに懇談を行いました。

なお、役員会の詳細につきましては、大学のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



教員著書紹介

ソーシャルワークの理論と実践 — その循環的發展をめざして —

岡本民夫 監修
平塚良子・小山隆・加藤博史 編集
横山登志子 執筆

【発行元】中央法規出版 【発行日】2016年5月
【価格】4,000円（税別） ISBN 9784805853627



本書は、岡本民夫同志社大学名誉教授が主催する研究会活動を母体に、ソーシャルワークの理論と実践の関係の検証や両者の相互循環的發展について論じた専門書である。担当した章は第2部の「ソーシャルワーク理論の活用と検証—理論と実践—」のなかの「第11章 ストレングス視点アプローチ」である。ストレングス（長所、力、能力）に着目した実践理論の枠組みと、具体例としてスクールソーシャルワーカーによる支援事例を述べ、理論的・実践的な検証を行った。ソーシャルワークの理論と実践を評述した専門書が多くはないなか、「実践の科学化」を意識した本である。

ひきこもる心のケア — ひきこもり経験者が聴く10のインタビュー —

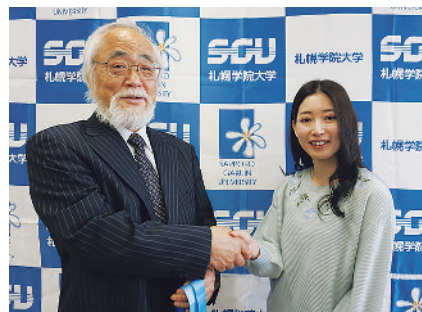
村澤和多里 監修 杉本賢治 編

【発行元】世界思想社 【発行日】2015年8月
【価格】1,800円（税別） ISBN 9784790716655



この本は、自身もひきこもりを体験した編者が、ひきこもり支援の専門家におこなったインタビューをまとめたもので、私は監修者として携わりました。本学の専任教員では二通論先生、山本彩先生、私（村澤）、その他にも本学に関係する先生方の話が掲載されています。教員たちがどんなことを考えているのか知る機会にもなりますので、ぜひ一読ください。

藤本那菜さん アイスホッケー女子日本代表ゴールキーパー 2017冬季アジア札幌大会金メダル獲得!



3月10日、女子アイスホッケー日本代表「スマイルジャパン」ゴールキーパーの藤本那菜選手（DENSO北海道所属 2012年3月臨床心理学科卒）が、鶴丸学長へ2017冬季アジア札幌大会の初優勝と2018年平昌冬季オリンピック出場権の獲得を報告に来学しました。

当日は、鶴丸学長にアジア大会の金メダルを披露し、アジア大会の試合結果を報告すると同時にアジア大会前に苫小牧で行われた平昌五輪最終予選について報告がありました。



鶴丸学長からは、平昌五輪最終予選の活躍を讃え、五輪本番でも守護神として好セーブをあげるよう激励がありました。今後も「スマイルジャパン」GK藤本那菜選手に応援をよろしく願っています。

「レッドブル400日本大会」で 高坂凌太さん（陸上競技部）が優勝

5月21日、札幌市大倉山ジャンプ競技場で行われた「世界でも過酷な400m走」と呼ばれるヒルクライムレース「Red Bull（レッドブル）400日本大会」個人男子の部で、陸上競技部に所属する高坂凌太さん（経営学科2年）が4分10秒で優勝しました。高坂さんは、7月15日にドイツのティティゼー・ノイシュタットで開催される世界大会へ日本代表として出場することになりました。世界大会で優勝目指して頑張ってください。



課外活動優秀者表彰式

5月25日、体育系指導者懇談会において、2016年度に活躍したカーリング部（団体1種）及びフットサル部（団体3種）が課外活動優秀団体として表彰されました。

鶴丸学長から賞状を渡された後、学生を代表してカーリング部の清水野菜也さん（こども発達学科2年）が、さらに上を目指し頑張りたいと抱負を述べました。

カーリング部は、2016年11月に青森で開催されたJOCジュニアオリンピックカップ第25回ジュニアカーリング選手権大会において優勝し、世界ジュニアBカーリング選手権大会2017（1月・スウェーデン）へ日本代表として出場したことが評価されました。

フットサル部は、2016年6月に全国の大学生対象に開催された「アイデムカップ2016フットサル大会（札幌）」で優勝し、次に行われた「北海道・東北セントラル大会（宮城）」で準優勝、全国599チーム中ベスト16位となったことが評価されました。



未来へ STEP UP エクステンションセンター 前期講座がスタート

エクステンションセンターでは、正課の授業で取得できる資格とは別に、就職に役立つ資格やスキルを身につけることを目的に資格講座を開設しています。今年度も行政書士、宅地建物取引士、サービス接遇検定、保育士、法学検定、パソコン（MOS）、日商簿記講座などの資格講座と公務員志望者を対象とした公務員講座を開講しています。授業の後に学内で受講が出来、受講料も安いことから毎年多くの学生が受講して資格を取得しています。今年度も前期講座がスタートしています。後期は、二種外務員講座、FP技能士講座、ANAエアラインスクール、介護職員初任者研修講座などを予定しています。後期の講座につきましては、エクステンションセンター受講受付（札幌学院大学生協）へお問合せください。



コミュニティ・カレッジ 講座のご案内

社会連携センター（札幌市中央区大通西6）では、大学の知的資源を市民に還元するための講座「コミュニティ・カレッジ講座」を開設して今年で18年目を迎えます。今年の前期講座では、一般講座10講座、市民セミナー5講座、英会話講座5講座を開講、800名を超える市民の方々が教養講座や専門講座、英会話講座などで楽しく学んでいます。

本学は大学の前身である札幌文科専門学院から今日に到るまで、広く市民の皆さまに学びの場を提供して参りました。コミュニティ・カレッジは大学のそうした姿勢を引き継ぐもので開設以来、2万6千名を超える皆さまに受講いただき、大変好評を得ています。後期の講座は10月開講になります。詳しくは、8月下旬に後期講座向けに更新される札幌学院大学社会連携センターのホームページ（<http://www.sgu.ac.jp/rcc/>）をご覧ください。同窓生、在学生のご両親には受講料の特別割引制度がございます。



札幌学院大学 社会連携センター 検索

Information

公式ホームページトップページ、受験生応援サイトをリニューアルしました

3月31日、公式ホームページのトップページ、受験生応援サイトをリニューアルしました。本学の特色、情報を効果的かつタイムリーに発信し、認知度向上、志願者の拡大につなげるため、ターゲットである受験者層に寄り

添ったデザインと機能に刷新しました。今後は、学生の成長ストーリーや受験攻略方法、キャンパスライフ紹介などコンテンツの充実を図っていきます。



[公式ホームページ]
<http://www.sgu.ac.jp/>



[受験生応援サイト]
<http://sgu-sp.jp/>



▲公式ホームページのトップページ



▲受験生応援サイトのトップページ

[入試情報] オープンキャンパス

日程	時間	無料送迎バスの運行
6月18日(日)	11:00~16:00	全道各地とJR札幌駅、 地下鉄新さっぽろ駅から 無料送迎バス(運行予定)
7月23日(日)	11:00~16:00	
9月24日(日)	13:00~16:00	
11月12日(日)	13:00~16:00	
3月18日(日)	13:00~16:00	

[入試情報] 大学進学セミナー

開催地	会場	日程	時間
旭川	イオンモール旭川駅前 4階イオンホール	8月26日(土)	12:30~15:30 (受付12:00~)
北見	野付牛モール チャリオット	8月27日(日)	10:30~13:30 (受付10:00~)
帯広	とかち館	9月2日(土)	12:30~15:30 (受付12:00~)
釧路	アクア・ペール	9月3日(日)	10:30~13:30 (受付10:00~)
函館	LAMB'S EAR	9月9日(土)	10:00~13:00 (受付9:30~)
青森	青森県観光物産館 アスパム	9月10日(日)	10:00~13:00 (受付9:30~)



SNSで情報配信中

Facebook



twitter



受験生用 LINE



Instagram

